

平成 27 年度 【父親母親委員会】 第 1 回専門委員会 議事録

開催日 : 平成 27 年 05 月 09 日 (土)

場 所 : 東筑摩塩尻教育会館

参加人数 :

委員長 : 倉田ゆか

副委員長 : 小林薫

事務局 : 石井麻美

書 記 : 滝沢修吾

★議 事 録

①委員長あいさつ

②年間事業計画の説明

アンケートの実施の主旨の説明

③自己紹介+自分の子育てで自慢できるところ・子どもとのコミュニケーションで気を付けていることを発表

〈内容抜粋〉

・自己肯定感がなく育ち育児ノイローゼになった。PTA の役員をうけたことでほかの人に支えられ子どもの反応も変わってきた。子どもの変化をとらえて受け止めてあげることで子どもの問題が解決できる。

・子どもと議論するとき、子どもの考え・言葉で発することを気にかけている。

・子どもに対して人格そのものを否定するような叱り方をしない。

・父親は子どもと顔を合わせる機会が少ないので、毎朝の声かけや朝飯を一緒に食べるなど日々の積み重ねが重要なのではないか

・社会性が低くならないようバランスの良い子に育てる。得意なことを生かしていけるよう育てる。

・母親が叱っていたら父親は叱らない。子育てではどこかに子どもの逃げ場も作ってあげることが必要。

・学校社会はひとつのチームとして、仲間に入れていない子をみつけて声をかけていくように教えてきた。

・ささいなことでも気にしていること・見ていることをアピールする。

・今仕事や役員活動ができるのは家族協力があるおかげ。感謝をすることを忘れない。何かをしてもらって当たり前ということはない。

・必ず顔を合わせて話す。叱る時は必ず理由を言って叱る。

・ただいま、お帰りと言えることを、家族がいることを当たり前と思わない。

④伊賀先生よりまとめ

自慢できることや良さと言われるとちょっと考えてしまう。それは普段見返す場がないせいで、委員会の場では自分自身を見返せるチャンス。またいろいろな人の話が聞け、学びの場になると思う。

*まとめ

時間の都合もあり自己紹介程度の発表しかしてもらえなかったが全員の発言を促すことができた。次回につなげ自身のコミュニケーションや子どもとの関わりの振り返りの場を提供していけたらいいと思います。

★「専門委員会 運営案 年間計画表」作成

- 第二回専門委員会 9月27日
- 第三回専門委員会 1月23日
- 第四回専門委員会 2月13日

話合うテーマなどは、県P「陽だまり研修会」などの内容も反映する必要があるので陽だまり研修会参加後検討していく

★「専門委員会 情報交換シート」集計

現在各委員さんにアンケートを配布していますが、回収率が悪くガンバシ新役員研修のときに持参していただくよう案内を出したいと思います。